

問1 ^{べつべつ}めしべとおしべが別々の花にあり、1つのかぶに2種類の花がさく植物のことを何と呼びますか。

1. めばなとおばながある植物 2. めしべとおしべが同じ花にある植物 3. 花がさかない植物 4. たねをつくらない植物

問2 おしべの先にあり、花粉がつくられる部分の名前は何ですか。

1. 花びら 2. めしべ 3. やく 4. がく

問3 花のつくりのうち、おしべだけがある花のことを何とよびますか。

1. めばな 2. おばな 3. つぼみ 4. がく

問4 おしべの先についている、粉のようなものは何ですか。

1. みつ 2. めしべ 3. たね 4. 花粉

問5 ^{けんびきょう}顕微鏡でピントを合わせるとき、^{そうさ}接眼レンズをのぞきながらやっではいけない操作はどれですか。

1. 対物レンズと観察するものを近づけること 2. しぼりを回して光の量を調節すること 3. ^{はんしゃきょう}反射鏡を動かして明るさを変えること 4. 対物レンズと観察するものを遠ざけること

問6 ^{けんびきょう}顕微鏡で観察するときに、観察するものをのせたスライドガラスをステージに置き、クリップでとめたもののことを何といいますか。

1. ^{はんしゃきょう}反射鏡 2. プレパラート 3. 接眼レンズ 4. 対物レンズ

問7 メダカやヒトなどの動物で、めすのたまごにおすの精子が結びつくことを何といいますか。

1. 発芽 2. 受粉 3. 受精 4. 羽化

問8 虫に花粉が運ばれる花の花粉には、こん虫の体にくっつきやすくするためにどのような特^{とくちょう}徴がありますか。

1. 水にうきやすい。 2. 表面がつるつるしている。 3. 軽くて風にのりやすい。 4. 表面にとげがある。

問9 花が受粉したあとに、めしべのものとふくらんだ部分が育って実になるとき、その実の中にできるものは何ですか。

1. めしべ 2. 花粉 3. おしべ 4. 種子

問10 アサガオやアブラナ、ユリなどの植物に共通する、花づくりの特^{とくちょう}徴はどれですか。

1. 1つの花にはめしべもおしべも存在しないこと。 2. 1つの花にはめしべとおしべのどちらか片方しかないこと。 3. 1つの花にめしべとおしべが両方そろっていること。 4. 花びらとがくだけでできていて、めしべもおしべもないこと。

問11 受粉とは、花粉が花のどの部分につくことですか。

1. めしべの先 2. おしべの先 3. 花びらの先 4. がくの先

問12 ヘチマの花のうち、めしべがあるのはどの花ですか。

1. どちらの花にもある 2. めばな 3. つぼみ 4. おばな

問13 接眼レンズの数字が10で、対物レンズの数字が40のとき、^{けんびきょう}顕微鏡の倍率は何倍になりますか。

1. 400倍 2. 50倍 3. 30倍 4. 4倍

問14 ヘチマやカボチャなどの植物において、花粉は主に何によって運ばれますか。

1. 強くふく風 2. ミツバチなどの虫 3. 地面を流れる水 4. 土の中にいるミミズ

問15 ヘチマなどの植物で、めしべがある花のことは何とよべれますか。

1. おしべ 2. おばな 3. めしべ 4. めばな

答え合わせ・解説 No.5

問1	答え 1 めばなとおばながある植物	めしべとおしべが ^{べつべつ} 別々の花にあり、1つのかぶにめばなとおばなの2種類の花がさく植物のことです。
問2	答え 3 やく	おしべの先にある、花粉がつくられる部分を「やく」といいます。
問3	答え 2 おばな	おしべだけがある花のことを「おばな」とよびます。
問4	答え 4 花粉	おしべの先には、花粉という粉のようなものがついています。
問5	答え 1 対物レンズと観察するものを近づけること	接眼レンズをのぞきながら対物レンズと観察するものを近づけると、距離が ^{きより} わからずぶつかってしまう危険があるため、やってはいけません。
問6	答え 2 プレパラート	観察するものをのせたスライドガラスをステージに置き、クリップでとめたものをプレパラートといいます。
問7	答え 3 受精	動物のめすのたまごにおすの精子が結びつくことを受精といい、これによって新しい生命が ^{たんじょう} 誕生します。
問8	答え 4 表面にとげがある。	虫に花粉が運ばれる花の花粉は、こん虫の体にくっつきやすいように、表面にとげがあるなどの ^{とくちょう} 特徴をもっています。
問9	答え 4 種子	受粉したあとに、めしべのもとの部分が育って実になるとき、その実の中にできるものを種子といいます。
問10	答え 3 1つの花にめしべとおしべが両方そろっていること。	アサガオ、アブラナ、ユリは、すべて1つの花の中にめしべとおしべが両方そろっているという ^{とくちょう} 特徴があります。
問11	答え 1 めしべの先	受粉は、おしべから出た花粉が「めしべの先」につくことをいいます。
問12	答え 2 めばな	ヘチマの花には2種類あり、めしべがあるのは「めばな」です。もう一方の「おばな」にはおしべがあります。
問13	答え 1 400倍	^{けんびきょう} 顕微鏡の倍率は接眼レンズの数字と対物レンズの数字をかけ合わせたものなので、10かける40で400倍になります。
問14	答え 2 ミツバチなどの虫	ヘチマやカボチャなどの植物では、花粉がミツバチなどの虫の体に付くことで運ばれます。
問15	答え 4 めばな	ヘチマなどの植物で、めしべがある花のことを「めばな」といいます。